事例No.	871
公表年度	R1
団体の属性	一般市
団体名	山梨県都留市

事例区分	一般行政

タグ	・人材確保・育成 ・移住定住 ・教育・子育て

事例種類	人材育成の取組事例

事例内容・タイトル

林業の担い手不足の解消のため「森の学校」開催

出典

森林環境譲与税の取組事例集（令和２年１月）

人材育成・担い手対策

山梨県　都留市（林業の担い手不足の解消のため「森の学校」開催）

わがまちの税活用方針

- 本市は森林面積は約13,600haであり、本市の総面積の約84%を占めている。
- 人工林のうち、伐採適期を迎える40年以上となる箇所の面積が約80%で、資源がアンバランスとなっていることから、適正な森林の管理が喫緊の課題となっている。
- 森林管理経営制度と森林環境譲与税の導入に伴い、森林組合など林業関係者と議論を重ねた結果、林業の担い手不足と、林業が産業として成熟していないことが浮き彫りとなった。このことから「森林経営管理制度の適切な運用のための林業の担い手の確保」と、本市の資源である森林・里山を活用した「木材利用、森林環境教育及び観光の分野で安定的な収入を確保できる体制の確立」を柱として、森林環境譲与税を活用していくこととした。
- 森林環境譲与税の活用の方向性として以下の３つの施策を行っていくこととしている。
  Ⅰ都市部向け環境教育の充実　Ⅱ林業担い手不足の解消　Ⅲつる観光とのマッチング

主な取組・概要

Ⅱ林業の担い手不足の解消

1　森の学校事業業務委託

【事業費（内譲与税額）】2,215（2,215）千円

【実施時期】令和元年７月～令和２年３月

【実施主体】地域の森林組合へ委託

【事業の内容】

・事業の目的
市民の森林に対する意識向上を図り、将来の林業の担い手の育成･確保や森林整備･木材利用の促進による森林の活性化を目的とするとともに、受講生が地域林業の担い手として森林整備に関わり、地域に定着していくことにも繋げる

・実施内容
通年の座学及び現場での実技等により、林業に必要な知識・技術の指導を行う（森づくり全般、チェーンソー取り扱い、刃物研ぎ目立て、下刈、境界調査、測量、選木間伐、枝打ち、つる切り、地拵え、歩道整備、植栽等）

・開催回数
全12講座

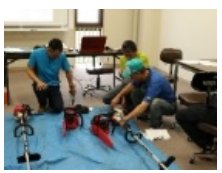
・対象者
18歳から70歳までの男女で都留市内に住所を有する者又は将来的に都留市に移住を希望する者

・定員
概ね20名

事業スキーム

市
↓
森の学校事業の実施を委託
実施機関（南都留森林組合）
↓
①森林の現状と重要性を幅広く周知
②将来の林業担い手の育成
受講者（一般市民、市内への移住希望者等）




工夫・留意している点、特徴等

・初年度であることから、まずは山林に関心を持つことができるような内容を中心に開催
・チラシ、ポスター、広報、webサイト等を活用し、市内外に周知
・日曜開催や同じ内容の講座を2回ずつ開催する等受講者が参加しやすいよう開催